

2004年4月7日

ジェイ・フェニックス・リサーチ株式会社

新入社員向け講演

テーマ：価値と社会人生活

講演のポイント

- 自分の価値について考えてみよう。価値は相対的なものであり、自分が何に価値を見出すのかが重要である。
- 上場(登録)企業の会社の値段は資本市場(時価総額)で決まる。企業の値段を決める要因を理解すると同時に、新入社員と言えども会社の値段を左右する要素となっていることを心得よう。
- 人材(財)評価の視点が大きく変化している。個の能力評価がより重要視されてきている。自分の価値を上げる努力が必要である。
- 人生設計を立てて見よう。自分のミッション、ビジョンを確認し、自己分析を行うことにより、なすべきことが見えてくるはずである。高い問題意識を持って社会人生活を送るものとそうでないものとの格差は時間とともに大きく広がることとなる。

講演に向けての我々の心構え

弊社顧客の依頼を受けて、新入社員向けに講演をさせて頂いた。新入社員向けの講演は我々にとっては初めての経験である。長年泥臭い金融市場にどっぷり浸かってきた我々が、将来を囑望されているピカピカの新入社員に、何か役に立つ話ができるのか正直言って悩ましい問題であった。しかし、我々にできることは、得意とする「価値」についての分析、考え方を理解して頂き、それを今後の社会人生活の中に活かして貰う事であると考えた。そこで、テーマが「価値(基準)と社会人生活」となった

このテーマで特に伝えておきたかったことは、個の能力評価がより問われる時代において自分の価値判断指標・基準を見極めることが大切であること、より高い目標・問題意識を設定しその達成・解決に向けて努力することで自己の価値がより高まること、の2点である。その他、企業の重要な経営資源である新入社員が企業の価値にどのように関わっているかを通して、企業人としての役割・振る舞いの重要性についても触れたつもりである。

価値とは相対的なものである。自分が重要であると考えているものでも、相手が重要でないと考えれば、相手にとってはその価値(値段)は低下してしまうのである。人間に値段を付けるわけにはいかない。しかし、人間は価値(魅力)をいくらでも高める可能性を秘めている。だが、自身で価値指標・基準を認識してそれを高めるために努力するものと、そうでないものとは年月を経るにつれて、その指標を軸に判断する限りにおいては大きな差がついてしまうこととなる。どのような価値指標・基準を採り入れるかは新入社員個々人の判断であり、外野がともかく言うものではない。私自身は、価値というものに対する指標・基準を意識せずに当初過ごしてしまったことを深く反省している。その反省を踏まえ、新入社員の皆様には早期段階において自分のミッション、ビジョンを描き、その達成に向けて動きだすことをお勧めしたい。

ミッション、ビジョンなどという言葉を用いると大げさに聞こえるかも知れない。ビジョンとは、5年先、10年先に自分がこうなりたい、こうありたいという姿である。その姿を思い浮かべること、

おのずと自分の強みや弱みが見えてくるはずである。これからさらに強化すべきもの、補強・克服すべものなどを認識することから価値創造が始まることになる。これらは、我々が、長年企業分析を行う際に利用してきた伝統的な手法であるが、人生設計の場でも有効に機能するのではないかと考えている。

プレゼン資料要約

ここでは、プレゼンテーションに使用した具体的な資料を掲載することは避けさせていただきました。

プレゼン資料の中では、価値についての考えかた、人間の魅力とはいかなるものか、企業の価値は資本市場でどのように分析されているのかなど具体的な例示でわかりやすく解説したつもりである。また、前述したような人生設計、自己価値創造の視点などの例示も採り入れた。

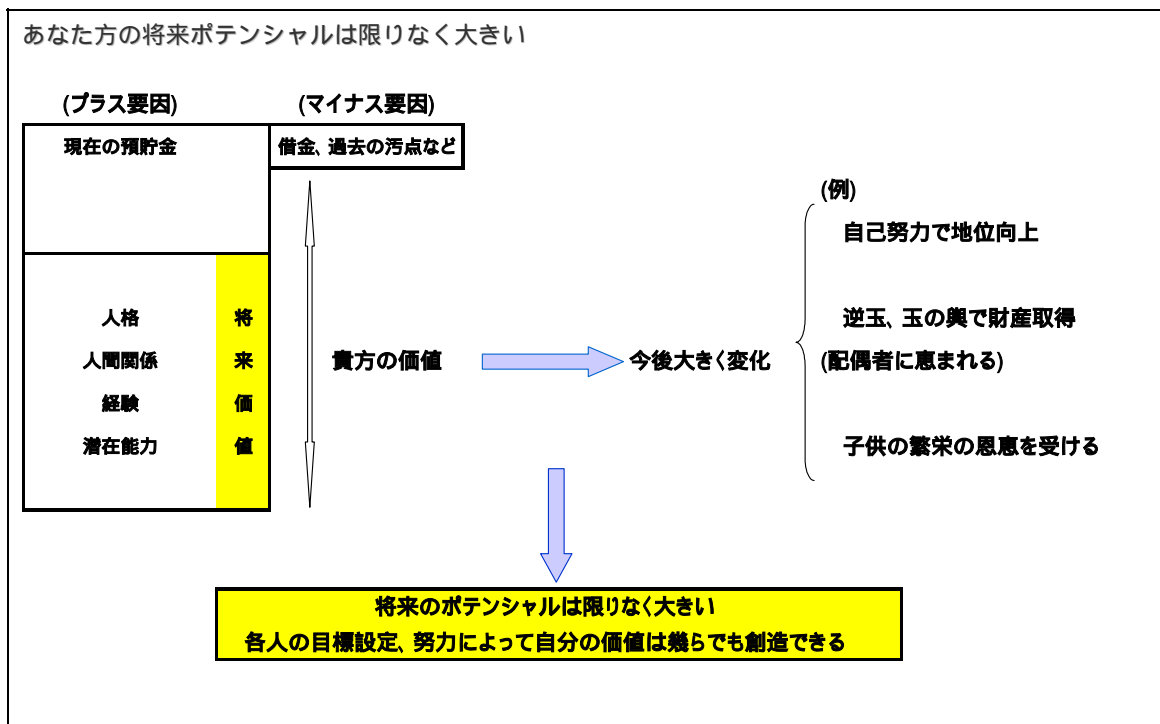
企業と資本市場との関わりについて新入社員向けにわかりやすく解説を試みたい向きには参考になるプレゼンテーション資料に出来上がったのではないかと考えております。

後述

講演後に多くの質問を頂いたことから察するに、新入社員の皆様に多少は興味を持っていただけたのではないかと少しばかり自負しているところである。新入社員の皆様の今後の社会人生活の一助になれば幸いです。

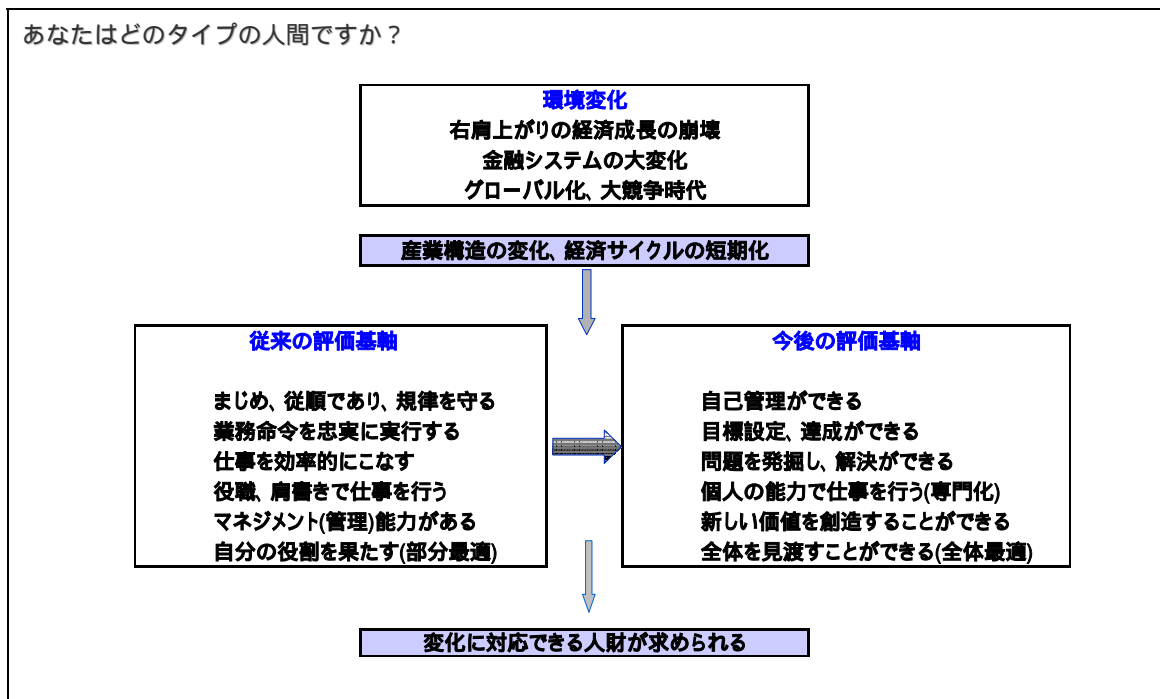
新入社員の皆様のご健勝と今後のご活躍をこころよりお祈り申し上げます。

図表 1:(スライド抜粋 1) 貴方は自分に幾らの値段を付けますか？



出所：ジェイ・フェニックス・リサーチ

図表 2:(スライド抜粋 2) 評価指標の変化：変化に対応できる人材を求める



出所：ジェイ・フェニックス・リサーチ

©ジェイ・フェニックス・リサーチ株式会社（JPR）。無断転載を禁ず。/本誌記載のデータは各種の情報源から入手したものです。その正確性を保証するものではありません。要請に応じ追加情報を提供いたします。/JFR は本誌で取り上げられた企業に対してアドバイザー業務を含むサービスを提供、またはそれらのサービスを勧誘する場合があります。/本誌は情報提供を目的としており、記載されている意見や予想は証券、オプション、先物等を勧誘するものではありません。また、特定の投資目的や特定のニーズに応えたものではありません。将来的に予想通りの結果とならない可能性があります。過去の実績は必ずしも将来の業績を示唆するものではありません

発行 ジェイ・フェニックス・リサーチ株式会社
〒100-0011 東京都千代田区有楽町 1-7-1
有楽町電気ビル 電気ビル 17 階
TEL : 03-6212-3271 FAX : 03-6212-3276